

岡山大学医学部入学定員増に関する

**各県の提出した地域医療再生計画の関係部分の抜粋**

岡山県： 《1》 ページ ～ 《2》 ページ

兵庫県： 《3》 ページ ～ 《5》 ページ

鳥取県： 《6》 ページ ～ 《8》 ページ

広島県： 《9》 ページ ～ 《12》 ページ

6. 具体的な施策

【大学や医療機関と連携した医師派遣機能の強化等医師確保・看護師確保対策】

- ・ 総事業費 210,712千円（基金 187,612千円、県 8,100千円、市町村 15,000千円）

（目的）

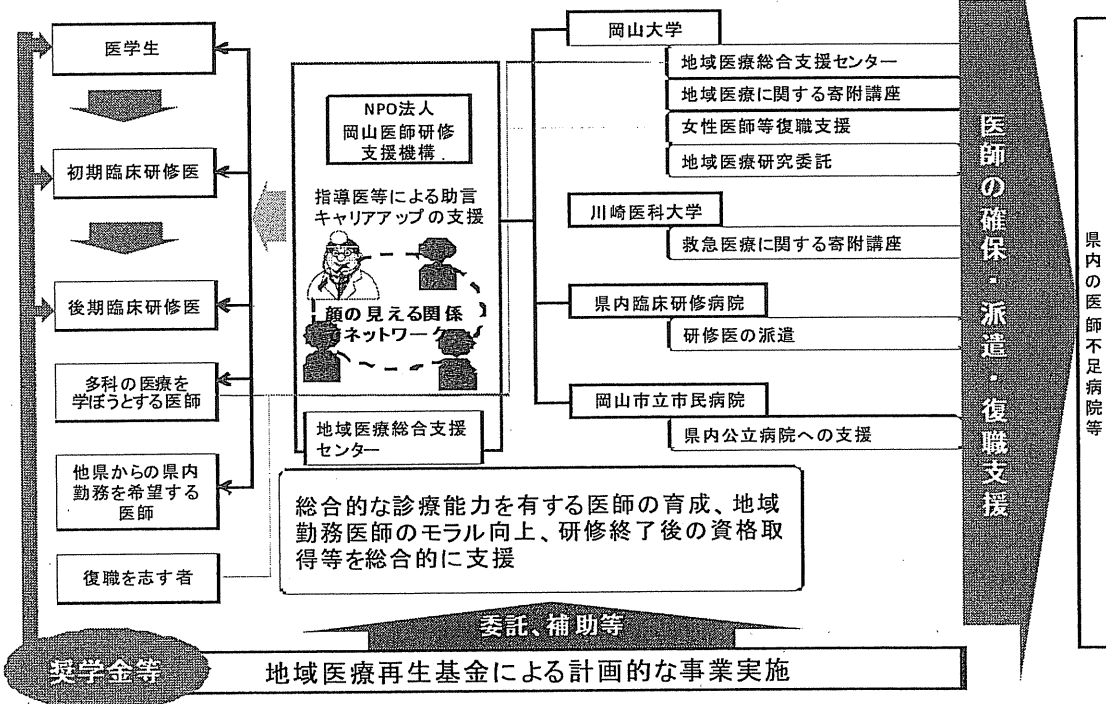
地域で活躍する医師を確保するため、大学医学部地域枠の拡充や大学に寄附講座を設置するとともに、医学部大学院生や臨床研修を終了した医師等を継続的に医師不足地域の医療機関に派遣する仕組みを設ける。

また、地域医療に魅力を感じて地域医療を志望する医師の養成や地域に赴任する医師の確保、地域枠で養成する医師及び自治医科大学卒業医師が地域に定着するための事業などに取り組む。

（1）県全体で取り組む事業

岡山県の医師確保対策と地域医療従事医師のキャリア形成支援

～単に医師数を増やすだけでなく、地域の医療ニーズにあった医師の育成、確保が不可欠～



【医師派遣機能の強化を図る】

① 医学部地域枠の拡充

- ・ 平成22年度事業開始
- ・ 事業総額 96,000千円（基金 96,000千円）

本県では、緊急医師確保対策（平成19年5月）に基づき、平成21年度から岡山大学医学部に県内高等学校卒業生等を対象とした地域枠（5人）を新たに設

置し、卒業後は、貸付期間の1.5倍の期間、県が指定する医療機関に勤務することを返還免除の条件とする「岡山県医師養成確保奨学金」を創設したところである。

これに加え、平成22年度から同様の制度により、岡山大学医学部に2名、広島大学医学部に2名の地域枠を追加し、県内の医師不足地域等の医療機関に勤務する医師確保対策の充実に取り組む。

なお、当該地域枠学生については、義務年限内はもとより、義務年限終了後も、自ら進んで地域医療を志望し、引き続き地域医療に従事できるよう、後述の「⑨地域医療に従事する医師を育成・確保するためのプログラム」において、キャリア形成支援等を行う。

## ② 救急医派遣の仕組みを構築するため大学に寄附講座を設置

- ・平成22年度～25年度

- ・事業総額 160,000千円（基金 160,000千円）

医学部地域枠学生が医師として実働するまでの間の超短期的な医師確保対策として、救急医の少ない県北地域の救急医療機関に、救急医を確実に確保するための寄附講座を川崎医科大学に設置する。

川崎医科大学の附属病院は、高度救命救急センターとして、平成13年度からドクターヘリの運用を開始するなど、県内の重篤な救急患者の救命を担う医療機関である。

当該寄附講座では、救急医療を担う医師の研修や確保対策等に取り組むため、講座の教員3名を確保するとともに、県北地域の救急医療の核となる病院において、地域医療を支える救急医として、また、救急医療を学ぶ研修医や大学院生等の指導者として、救急医療の現場で活躍する。

## ③ 研修奨学金等の創設による地域勤務医師の確保

- ・平成22年度事業開始

- ・事業総額 220,000千円（基金 220,000千円）

地域医療を担う医師の確保対策のうち、短期的な対策として、初期臨床研修医を対象に、研修終了後、所定の期間内に貸付期間の1.5倍の期間、県が指定する医療機関に勤務することにより、返還が免除される研修奨学金制度を創設する。また、これに加え、後期研修中の医師が研修終了後直ちに、県が指定する医療機関に2年間継続的に勤務する場合に奨励金を貸与し、勤務期間が満了すれば返還が免除される地域医療研究奨励金制度を創設する。

それぞれ、毎年5名の枠を設けることにより、平成22年度から5名～20名の医師を確保し、医師が不足している地域の医療機関への支援を行う。

## 1 対象とする地域

本地域医療再生計画においては、北播磨医療圏を中心とした地域を対象地域とする。

本県北播磨医療圏は、県のほぼ中央に位置し、面積 8 9 5 . 5 6 平方キロメートル、人口 2 8 万 6 千人を有する圏域である。圏内には 2 2 の病院と複数の一般診療所（2 1 4 施設）、及び歯科診療所（1 3 7 施設）が存在している。圏内の病院のうち公立（的）病院は、7 病院（公立 5 病院、公的 2 病院）あり、公立（的）病院の一般病床数（1,660 床）は同圏域内の約 7 割にあたり、地域医療において主要な役割を果たしている。

同圏域においては、近年、医師の減少により、救急医療に対応できない空白日が生じるなど、救急医療体制の維持が困難になりつつある。また、周産期医療に関しては、ハイリスク患者の診療を行う協力病院（市立西脇病院）についても、産科医 2 名で産婦人科を行っているが、分娩件数も増加し、医師の業務も過酷となりつつある。

このため、詳細に現状を把握し、早急に救急医療体制（特に、脳卒中・急性心筋梗塞対策）、周産期医療体制を立て直す対策を講じる必要があり、本圏域を地域医療再生計画の対象地域としたところである。

また、平成 19 年 5 月、同圏域に医師を派遣している神戸大学医学部附属病院より、公立（的）病院を有する 5 市 1 町に対して、医師不足により、今後は、各病院に医師を派遣できなくなるため、各公立病院を統合して北播磨の中核病院をつくる旨提案があった。その後、同圏域の病院をひとつの中核病院として集約することが困難なことから、平成 19 年 11 月に同圏域内の三木市と小野市に限って、統合の再提案があり、両市で統合に向けた協議をはじめ、平成 20 年 10 月に病院統合の最終合意に達したところである。

統合病院は、全国でも初めての試みとして、大学と行政が連携をして病院建設を行い、医師育成の仕組み「理想のマグネットホスピタル」を構築するものであり、平成 25 年 10 月の開設を目指している。

## 2 地域の現状

### (3) 医師数の減少

北播磨圏域の公立(的)7病院の医師数は、平成 16 年 7 月から平成 21 年 1 月までの 4.5 年間に 46.7 人減少している。その結果、時間外診療を縮小、一部病棟の休床、当直体制がとれない診療科が出るなど、地域医療体制にも徐々に影響が出ている。

医師一人当たりの業務量が増加しており、医師の働く環境をよりサポートする必要が高くなっている。

北播磨 公立(的)7病院の医師数の推移

区分	H16.7.1	H18.7.1	H21.1.1
医師数(人)	229.6	200.4	182.9

産科は、分娩取扱いを廃止・休止する医療機関が相次ぎ、現在分娩を取扱う公立(的)病院は 3 病院（市立西脇病院、市立加西病院、中町赤十字病院）となっている。

小児救急医療に、救急対応できない日が生じるなどの影響が出ている。

眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科などの少人数診療科では、医師の引き上げや退職により休診や縮小（非常勤医師による外来診療制など）が生じている。

医師数の減少が多い診療科（上位5診療科 H16.7.1 H21.1.1）

区分	産婦人科	小児科	眼科	外科	整形外科	内科
医師減少数 (人)	6.6	6.0	5.9	5.8	4.8	4.8

## 5 課題

〔医療従事者〕

圏域における医師不足の実態を踏まえ、医療人材の育成、派遣の仕組みを構築することが必要である。

## 7 具体的な施策

（1）全県で取り組む事業（運営に係る事業）

大学医学部定員増への対応

総事業費 80,000千円（基金負担分80,000千円）

（目的）

県内の医師不足地域の勤務医の確保を図るため、「経済財政改革の基本方針2009」に基づく医学部入学定員増に合わせて修学資金枠を新たに設定する。

（事業内容）

国が平成22年度から31年度までの医学部定員について、各都道府県が義務年限付の奨学金を設定することを条件に、地域枠として各7名の定員増を臨時的に認めることとした。この定員増については、地域医療再生計画に位置づけることが条件とされ、奨学金の財源として、平成25年度までは、再生基金から支出することが認められている。兵庫県では、神戸大学等の国立大学3校に依頼し、7名の地域枠を新たに設定する。

平成22年度から25年度までの延べ60名分の奨学金約1.5億円を計上し、26年度から36年度（31年度入学生が卒業するまで）の後年度負担（約7億円）は、県費でまかなう。

（積算内容）

- ・総事業費 : 848,100千円（うち当計画にもとづく基金負担：80,000千円）  
別途、阪神南圏域の地域医療再生計画に、基金負担69,500千円を計上
- ・入学定員増（修学資金貸与者数）：7名（神戸大学3名、岡山大学2名、鳥取大学2名）
- ・増員期間 : 平成22年度～31年度（貸与期間は36年度まで）

# 【兵庫県】

- 修学資金貸与額：12,114,800 円（1 人当たり 6 年間の総支給額）を予定
- 返済免除要件：県が指定する県内へき地等の医療機関等で 9 年間勤務

## 【鳥取県】

(4) 地域の医療機関の協力の下に地域の医療連携の推進や医療機関の体制を充実する。

## 【救急医療体制について】

- (1) 救急病院が夜間に外来診療を行う入院を必要としない軽症患者の数を、平成25年度末までに、10%減少させる。
- (2) 救急要請(覚知)から医療機関の受入れまでに1時間以上要している重症患者の件数を、ヘリコプターの活用等により、平成25年度末までに半減させる。
- (3) 救命救急センターの施設・設備を集中的に充実するとともに、軽症患者に対応する休日夜間急患診療所や救急医療・災害医療等を担う医療機関の体制を強化し、救急医療体制を確立する。
- (4) 平成25年度までに広域災害救急医療情報システム(EMIS)を整備するなど災害医療、救急医療に迅速に対応できるシステムを構築する。

## 6 具体的な施策

## 1 医師不足への対応

(1) 医師の確保の推進 ( → 将来の医師を確保する対策 )

## ◆県全体で取り組む事業◆

## ① 【2】 臨時特例医師確保対策等奨学金

事業実施年度	計画期間中の事業費(千円)				
	事業総額	基金負担	国庫負担	県負担	事業者負担
H21年度 事業開始	342,000	342,000			

(目的)

医師不足の解消は喫緊の課題であり、医学部卒業後に地域への医師の定着を図る。

(事業内容)

〔臨時養成枠〕平成22年度医学部入学定員について緊急臨時的に増員されることになった。この定員増には、卒業後の地域への定着のため奨学金を設置することが条件となっていることから、この定員増により設定される臨時養成枠に入学する者へ奨学金を貸付ける。(鳥大医学部等の臨時養成枠に入学した者に対するもの)

〔一般枠〕また、県内外の大学医学部で学ぶ学生に対して、将来県内の医療機関で医師として一定期間勤務した場合は返還免除となる奨学金を貸付ける。(年10名以内)

## ② 【4】 地域医療資源の将来予測

事業実施年度	計画期間中の事業費(千円)				
	事業総額	基金負担	国庫負担	県負担	事業者負担
H22年度	20,000	20,000			

(目的)

地域医療再生計画で取り組む事業（案） 全体版

【 】内の数字は、事業一覧表の事業番号

県全体：県全体で取り組む事業

地域：地域で取り組む事業

1 医師不足への対応

(1) 医師の確保の推進 ( → 将来の医師を確保する対策 )

① 【1】鳥取大学医学部への寄附講座（地域医療学講座）開設 県全体

ア 事業内容

鳥取大学医学部が開設する地域医療学講座（地域医療に貢献する人材育成と地域医療発展のために、地域医療の実践と研究、教育を行う。また、地域医療を志す医師の支援を行う。）に対して、人件費及び教育・研究費を寄附する。

地域医療学講座に属する医師は、地域の医療機関にて診療支援等に協力する。

イ 事業費等

事業実施年度	計画期間中の事業費 (千円)		財 源	計画終了後の実施
		基金		
H22年度 事業開始	140,000	140,000	基金 10/10	継続（効果検証し判断） 単年度経費 35,000千円
〔事業費の内訳〕 人件費、教育・研究費 35,000千円/年×4年間				

② 【2】臨時特例医師確保対策奨学金 県全体

ア 事業内容

〔臨時養成枠〕平成22年度医学部入学定員について緊急臨時的に増員されることになった。この定員増には、卒業後の地域への定着のため奨学金を設置することが条件となっていることから、この定員増により設定される臨時養成枠に入学する者へ奨学金を貸付ける。（鳥大医学部等の臨時養成枠に入学した者に対するもの）

〔一般枠〕また、県内外の大学医学部で学ぶ学生に対して、将来県内の医療機関で医師として一定期間勤務した場合は返還免除となる奨学金を貸付ける。（年10名以内）

イ 事業費等

事業実施年度	計画期間中の事業費 (千円)		財 源	計画終了後の実施
		基金		
H21年度 事業開始	342,000	342,000	基金 10/10	継続（定員増はH31入学者まで対象） 単年度経費 180,000千円 （ピーク時）
〔事業費の内訳〕 貸付金 臨時養成枠（年間1学年当たり） 150千円/月・人×12月×10人=18,000千円				



地域医療再生計画に基づき実施する事業

1 事業概要（事業名）

〔臨時養成枠〕 臨時特例医師確保対策奨学金  
〔一般枠〕 鳥取県医師養成確保奨学金貸与事業

2 事業目的

地域医療を取り巻く状況は厳しさを増しており、特に医師不足の解消は喫緊の課題であることから、平成22年度医学部入学定員について緊急臨時的に増員されることになった。当該定員増には、卒業後における地域への定着のための奨学金を準備することが必要である。

3 現状、背景

- (1) 6月23日に閣議決定された「経済財政改革の基本方針2009」において、医師の人材確保対策を講じることとされた。
- (2) 平成21年7月17日付けで文部科学省及び厚生労働省から定員増を特例的に認める通知がなされた。
- (3) 定員増には、医療再生計画に基づくこと及び医師が地域定着することを目的とした奨学金を設置することが条件となっている。

4 事業内容

平成22年度から実施される医学部入学定員の緊急臨時的な定員増により設定される臨時養成枠に入学する者への奨学金の貸付

- ・ 貸付対象 鳥取大学、岡山大学又は山口大学医学部の臨時養成枠に入学した者
- ・ 対象者数 年10名以内（鳥取大学8名以内、岡山大学1名以内、山口大学1名以内）
- ・ 奨学金の額 月額150千円（年額1,800千円）
- ・ 貸付期間 原則大学卒業の月まで（貸付限度期間は6年とする。）
- ・ 返還免除 卒業後、貸付期間の1.5倍の期間、知事の指定する県内医療機関に勤務した場合
- ・ 指定医療機関 県内公的病院、自治体立病院、自治体立診療所、県内大学医学部附属病院、救急告示病院
- ・ 初期臨床研修 県内マッチング
- ・ 勤務先の決定 奨学生が決定
- ・ 後期研修 1～2年
- ・ 選考方法 一般入試（出願の際に臨時特例養成枠を選択）

5 事業実施年度

〔臨時養成枠〕 平成22年度から平成25年度まで実施（31年度入学者までが対象）  
〔一般枠〕 平成21年度事業拡充

6 総事業費、補助率及び財源

（単位：千円）

総事業費	財 源 内 訳				
	基 金	国庫補助	県	市町村	事業者
342,000	342,000				

〔積算〕〔臨時養成枠〕 150千円/月×12月×12人=21,600千円  
〔一般枠〕 100千円/月×12月×10人=12,000千円

	H22	H23	H24	H25	計
臨時養成枠	18,000	36,000	54,000	72,000	180,000
一般枠 (H22～)	12,000	24,000	36,000	48,000	120,000
一般枠 (H21)	H21:8,400 8,400	8,400	8,400	8,400	42,000

## (3) 中山間地域における医療の確保 **【県全体で取り組む事業】**

### ① 大学医学部地域枠の拡大

(→ P90「具体的な事業内容」参照)

(千円)

事業費	633,600
基金	288,000
県負担	345,600

### 目的

大学医学部地域枠の定員を増員するとともに、定員増に対応して奨学金の拡充を図ることにより、卒業後、義務年限内の1/2を中山間地域で医療を行う医師の養成を強化し、中長期的な中山間地域における医師確保を図る。

#### 【目標】

- 中山間地域の医師数について、平成16(2004)年の6,547人まで増加させる。

### 事業概要

#### ア 地域枠の概要

中山間地域の医師確保・養成については、従来、自治医科大学卒業医師及び広島県医師育成奨学金事業により行ってきたところであるが、近年の医師不足に対応するため、これらに加え、次の事業に取り組む。

##### a 広島大学ふるさと枠の増員

県内唯一の医育機関である広島大学医学部において、平成21(2009)年度からのふるさと枠5名と平成22(2010)年度入学からの一般枠からふるさと枠への移行5名に加えて、新たにふるさと枠を5名増員し、平成22(2010)年度から、ふるさと枠15名に広島県医師育成奨学金を貸与する。

##### b 岡山大学地域枠の設定

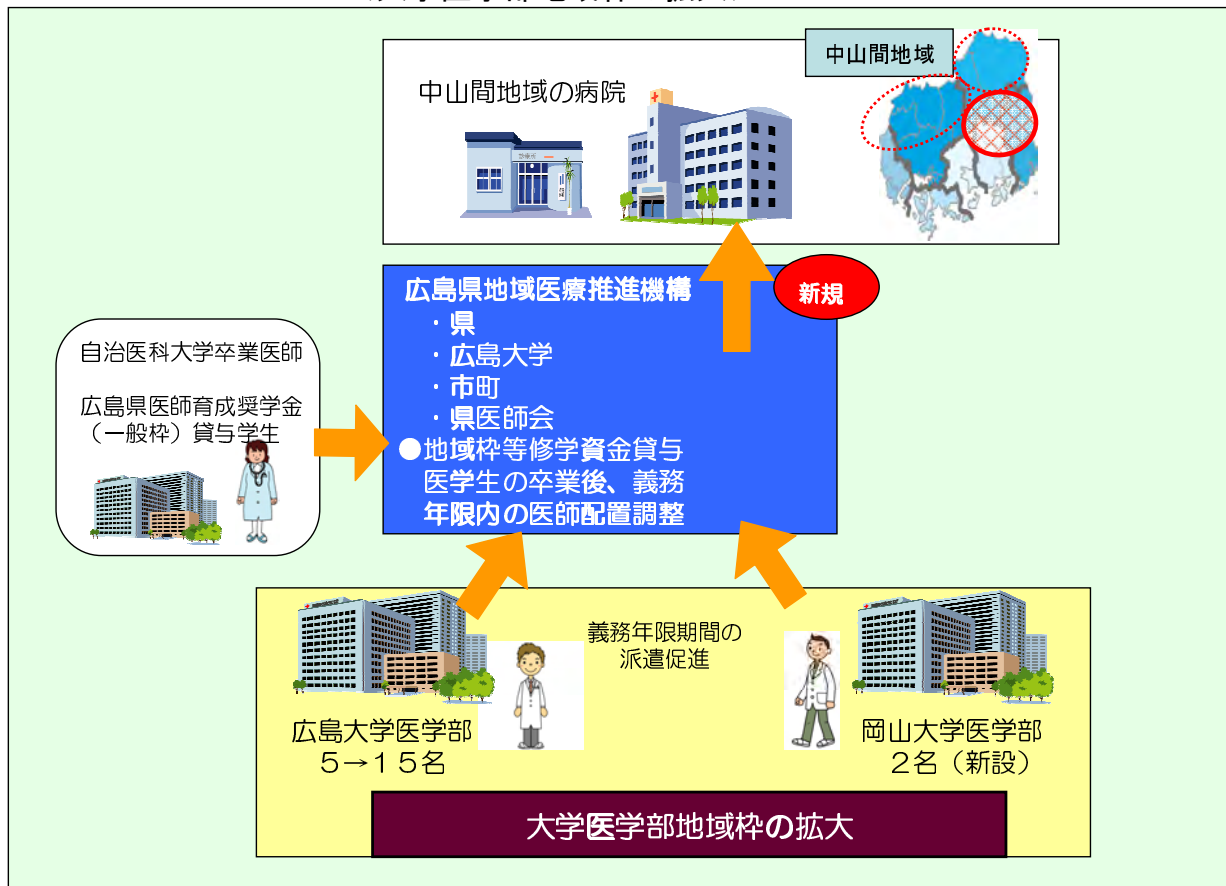
広島県東部の地域医療については、岡山大学医学部出身の医師が担っている実態があることから、広島県東部の医師確保と医師の定着を図るため、岡山大学医学部に、広島県地域枠2名を新たに設置し、平成22(2010)年度から、地域枠2名に広島県医師育成奨学金を貸与する。

### スケジュール

H21 (1~3月)	H22	H23	H24	H25
広島大学ふるさと枠〈5名〉	広島大学医学部ふるさと枠 〈15名〉 10名増			
	岡山大学医学部地域枠 〈2名〉			
広島県医師育成奨学金貸与 (一般枠) 〈4名〉				

事業イメージ

## ＜大学医学部地域枠の拡大＞



図表 5-B-7 大学医学部地域枠の拡大イメージ

## (3) 中山間地域における医療の確保

### ① 大学医学部地域枠の拡大

#### 【目標】

- 中山間地域の医師数について、平成16（2004）年の6,547人まで増加させる。

#### 1 目標設定の考え方

中山間地域における医師数は、平成18（2006）年の調査では、6,440人であり、過去最高であった平成16（2004）年の6,547人から107人も減少している。

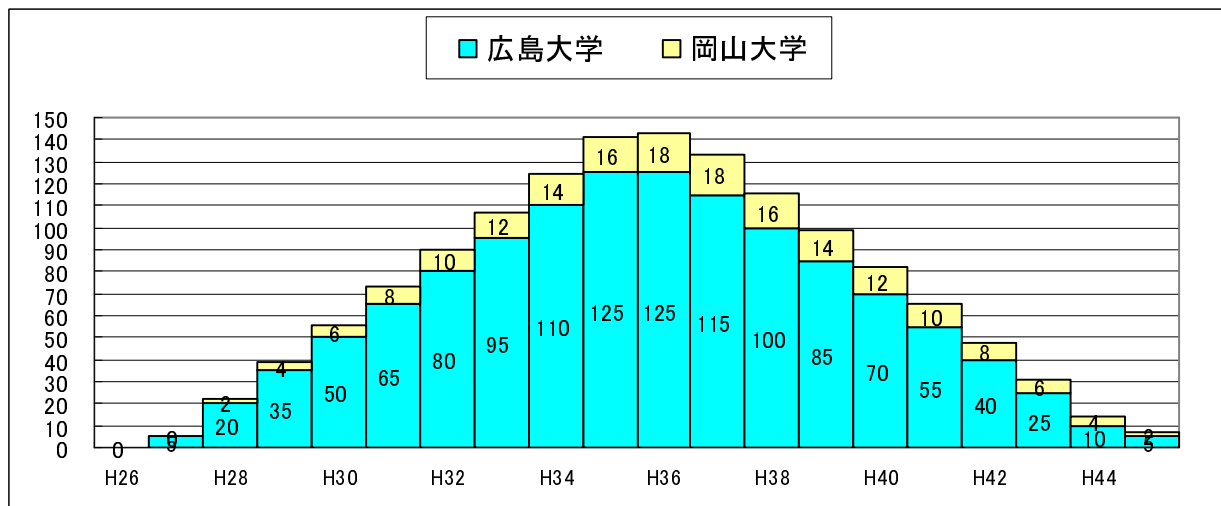
また、中山間地域の公立・公的病院の74%（14/19病院）において、平成16（2006）年調査時から医師数が減少していた。

図表6-B-9 中山間地域の医師数の推移

平成16年 (2004)	平成18年 (2006)	増減
6,547人	6,440人	▲107人

「医師・歯科医師・薬剤師調査」(厚生労働省 H16, H18)

広島大学ふるさと枠・岡山大学地域枠卒業医師数の増加推計について、平成26（2014）年度にふるさと枠の初年度学生が5名卒業し、その後、平成33（2021）年度に100人を超え、平成36（2024）年度には義務期間医師数が最大143人となる。



図表6-B-10 広島大学ふるさと枠及び岡山大学地域枠卒業医師数の推移

10年後の平成32（2020）年度には、広島大学ふるさと枠及び岡山大学地域枠を卒業した、義務期間医師数が90人となること、また、自治医科大卒業医師及び広島県医師育成奨学金（一般枠）卒業医師が確保されることから、平成16（2004）年の中山間地域の医師数6,547人まで増加させることを目標とする。

### 2 事業内容

区 分	広島大学ふるさと枠	岡山大学地域枠
平成 22 (2010) 年度募集人員	15 名	2 名
出願資格	○ <u>広島県内</u> の高等学校を平成 20 (2008) 年 4 月以降に卒業した者及び平成 22 (2010) 年 3 月に卒業見込みの者  ○広島県で将来の医療を担う強い意志があり、かつ、広島県が貸与する奨学金の受給を希望する者	○ <u>中国 5 県 (広島県, 岡山県, 山口県, 鳥取県, 島根県)</u> の高等学校を平成 20 (2008) 年 4 月以降に卒業した者及び平成 22 (2010) 年 3 月卒業見込みの者  ○広島県で将来の医療を担う強い意志があり、かつ、広島県が貸与する奨学金の受給を希望する者
奨学金の概要	年額 240 万円 (月額 20 万円×12 月)  【返還免除条件】 広島県内の公的医療機関に 9 年間勤務 (うち少なくとも 1/2 の期間は県が指定する中山間地域等の公的医療機関または特定診療科で勤務すること。)	年額 240 万円 (月額 20 万円×12 月)  【返還免除条件】 広島県内の公的医療機関に 9 年間勤務 (うち少なくとも 1/2 の期間は県が指定する中山間地域等の公的医療機関または特定診療科で勤務すること。)

### 3 事業費

(千円)

区 分	平成 22 年度 (2010)	平成 23 年度 (2011)	平成 24 年度 (2012)	平成 25 年度 (2013)	計
広島県医師育成奨学金 (広大ふるさと枠) 10 名	24,000	48,000	72,000	96,000	240,000
広島県医師育成奨学金 (岡大地域枠) 2 名	4,800	9,600	14,400	19,200	48,000
計	28,800	57,600	86,400	115,200	288,000

※全額 地域医療再生基金を活用する。ただし、26 年度以降は、県費一般財源対応(千円)追加分

区 分	26 年度 (2014)	27 年度 (2015)	28 年度 (2016)	29 年度 (2017)	30 年度 (2018)	31 年度 (2019)	32 年度 (2020)
広島県医師育成奨学金 (広大ふるさと枠) 10 名	120,000	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000	120,000
広島県医師育成奨学金 (岡大地域枠) 2 名	24,000	28,800	28,800	28,800	28,800	28,800	24,000
計	144,000	172,800	172,800	172,800	172,800	172,800	144,000

岡山大学医学部医学科カリキュラム変遷表 (地域医療に関する科目拡充等を含む。)

平成20年度										
区分	授業科目名	単位数	必修選択	配当年次						
				1	2	3	4	5	6	
				前後	前後	前後	前後	前後	前後	
<b>教養教育科目</b>										
専門基礎科目	医学生物学	2.0	選必★							
	基礎医学入門	2.0	選必★							
	医学概論 I	1.0	選必★							
	医学概論 II	1.0	選必★							
	遺伝学	1.0	選必★							
	臨床医学入門	2.0	選必★							
	基礎放射線学	1.0	選必★							
	発生学	1.0	選必★							
	医学統計学	2.0	選必★							
	人体の構造:入門	2.0	選必★							
	細胞生物学 I	1.0	選必★							
	細胞生物学 II	1.0	選必★							
	早期体験実習	0.5	必修★							
	細胞組織学	2.0	必修★		★					
	細胞組織学実習	1.0	必修★		★					
人体解剖学	2.0	必修★			★					
系統解剖学実習	3.5	必修★			★					
神経構造学	2.0	必修★				★				
神経構造学実習	1.0	必修★				★				
生理学 I	3.0	必修★			★					
生理学 I 実習	0.5	必修★			★					
生理学 II	3.0	必修★				★				
生理学 II 実習	0.5	必修★				★				
生化学・分子医化学	6.0	必修★					★			
生化学・分子医化学実習	1.0	必修★					★			
薬理学	4.0	必修★				★				
薬理学実習	0.5	必修★				★				
病理学 I	3.0	必修★					★			
病理学 I 実習	1.0	必修★					★			
病理学 II	3.0	必修★						★		
病理学 II 実習	1.0	必修★						★		
細菌学	3.0	必修★						★		
細菌学実習	0.5	必修★						★		
ウイルス学	3.0	必修★							★	
ウイルス学実習	0.5	必修★							★	
生体防御医学	4.0	必修★							★	
生体防御医学実習	0.5	必修★							★	
基礎病態	4.5	必修★							★	
分子病態学系	4.5	必修★							★	
先端医学系	4.5	必修★							★	
病理学系	3.0	必修★							★	
医学研究インターンシップ	8.5	必修★							★	
衛生学	3.0	必修★							★	
公衆衛生学	3.0	必修★							★	
衛生学・公衆衛生学実習	2.0	必修★							★	
法医学	4.0	必修★							★	
法医学実習	0.5	必修★							★	
内科総論	4.0	必修★							★	
外科総論	1.0	必修★							★	
臨床放射線総論	1.0	必修★							★	
臨床検査総論	1.0	必修★							★	
医療の基本	1.0	必修★							★	
生命倫理学	1.0	必修★							★	
医事	0.5	必修★							★	



平成21年度										
区分	授業科目名	単位数	必修選択	配当年次						
				1	2	3	4	5	6	
				前後	前後	前後	前後	前後	前後	
<b>教養教育科目</b>										
専門基礎科目	医学生物学	2.0	選必★							
	基礎医学入門	2.0	選必★							
	医学概論 I	1.0	選必★							
	→ 専門科目「医学史」へ移行									
	遺伝学	1.0	選必★							
	臨床医学入門	2.0	選必★							
	基礎放射線学	1.0	選必★							
	発生学	1.0	選必★							
	医学統計学	2.0	選必★							
	人体の構造:入門	2.0	選必★							
	細胞生物学	2.0	選必★							
	早期体験実習	0.5	必修★							
	細胞組織学	2.0	必修★				★			
	細胞組織学実習	1.0	必修★				★			
	人体解剖学	2.0	必修★					★		
系統解剖学実習	3.5	必修★					★			
神経構造学	2.0	必修★						★		
神経構造学実習	1.0	必修★						★		
生理学 I	3.0	必修★						★		
生理学 I 実習	0.5	必修★						★		
生理学 II	3.0	必修★							★	
生理学 II 実習	0.5	必修★							★	
生化学・分子医化学	6.0	必修★							★	
生化学・分子医化学実習	1.0	必修★							★	
薬理学	4.0	必修★							★	
薬理学実習	0.5	必修★							★	
病理学 I	3.0	必修★							★	
病理学 I 実習	1.0	必修★							★	
病理学 II	3.0	必修★							★	
病理学 II 実習	1.0	必修★							★	
細菌学	3.0	必修★							★	
細菌学実習	0.5	必修★							★	
ウイルス学	3.0	必修★							★	
ウイルス学実習	0.5	必修★							★	
生体防御医学	4.0	必修★							★	
生体防御医学実習	0.5	必修★							★	
基礎病態	4.5	必修★							★	
分子病態学系	4.5	必修★							★	
先端医学系	4.5	必修★							★	
病理学系	3.0	必修★							★	
医学研究インターンシップ	8.5	必修★							★	
衛生学	3.0	必修★							★	
公衆衛生学	3.0	必修★							★	
疫学・衛生学実習	1.0	必修★							★	
公衆衛生学実習	1.0	必修★							★	
地域医療体験実習	3.0	必修・選択							★	
法医学	4.0	必修★							★	
法医学実習	0.5	必修★							★	
内科総論	4.0	必修★							★	
外科総論	1.0	必修★							★	
臨床放射線総論	1.0	必修★							★	
臨床検査総論	1.0	必修★							★	
医療の基本	1.0	必修★							★	
生命倫理学	1.0	必修★							★	
医事	0.5	必修★							★	



平成22年度(予定)										
区分	授業科目名	単位数	必修選択	配当年次						
				1	2	3	4	5	6	
				前後	前後	前後	前後	前後	前後	
<b>教養教育科目</b>										
専門基礎科目	医学生物学	2.0	選必★							
	基礎医学入門	2.0	選必★							
	医学概論 I	1.0	選必★							
	遺伝学	1.0	選必★							
	臨床医学入門	2.0	選必★							
	基礎放射線学	1.0	選必★							
	発生学	1.0	選必★							
	医学統計学	2.0	選必★							
	人体の構造:入門	2.0	選必★							
	細胞生物学	2.0	選必★							
	早期体験実習	0.5	必修★							
	細胞組織学	2.0	必修★							★
	細胞組織学実習	1.0	必修★							★
	人体解剖学	2.0	必修★							★
	系統解剖学実習	3.5	必修★							★
神経構造学	2.0	必修★							★	
神経構造学実習	1.0	必修★							★	
生理学 I	3.0	必修★							★	
生理学 I 実習	0.5	必修★							★	
生理学 II	3.0	必修★							★	
生理学 II 実習	0.5	必修★							★	
生化学・分子医化学	6.0	必修★							★	
生化学・分子医化学実習	1.0	必修★							★	
薬理学	4.0	必修★							★	
薬理学実習	0.5	必修★							★	
病理学 I	3.0	必修★							★	
病理学 I 実習	1.0	必修★							★	
病理学 II	3.0	必修★							★	
病理学 II 実習	1.0	必修★							★	
細菌学	3.0	必修★							★	
細菌学実習	0.5	必修★							★	
ウイルス学	3.0	必修★							★	
ウイルス学実習	0.5	必修★							★	
生体防御医学	4.0	必修★							★	
生体防御医学実習	0.5	必修★							★	
基礎病態	4.5	必修★							★	
分子病態学系	4.5	必修★							★	
先端医学系	4.5	必修★							★	
病理学系	3.0	必修★							★	
医学研究インターンシップ	8.5	必修★							★	
衛生学	3.0	必修★							★	
公衆衛生学	3.0	必修★							★	
疫学・衛生学実習	1.0	必修★							★	
公衆衛生学実習	1.0	必修★							★	
地域医療体験実習	3.0	必修・選択							★	
法医学	4.0	必修★							★	
法医学実習	0.5	必修★							★	
内科総論	4.0	必修★							★	
外科総論	1.0	必修★							★	
臨床放射線総論	1.0	必修★							★	
臨床検査総論	1.0	必修★							★	
医療の基本	1.0	必修★							★	
生命倫理学	1.0	必修★							★	
医事	0.5	必修★							★	




平成20年度											
区分	授業科目名	単位数	必修選択	配当年次							
				1	2	3	4	5	6		
				前後	前後	前後	前後	前後	前後		
臓器・系統統合講義	循環器系	2.5	必修				*	*			
	呼吸器系	3.0	必修				*	*			
	腎泌尿器系	2.5	必修				*	*			
	内分泌・代謝系	2.0	必修				*	*			
	消化器系	4.0	必修				*	*			
	血液・造血管系	1.5	必修				*	*			
	感染症系	1.5	必修				*	*			
	免疫系	1.5	必修				*	*			
	感覚器系	2.5	必修				*	*			
	運動器系	2.5	必修				*	*			
	脳神経系	4.0	必修				*	*			
	精神系	1.5	必修				*	*			
	皮膚系	2.0	必修				*	*			
小児・発達系	4.0	必修				*	*				
生殖系	3.0	必修				*	*				
麻酔・救急系	3.0	必修				*	*				
臨床実技入門	2.0	必修				*	*				
専門科目	基本臨床実習	消化器・肝臓・感染症学内科	2.0	必修					*	*	*
		血液・腫瘍・呼吸器	2.0	必修					*	*	*
		腎・免疫・内分泌代謝	2.0	必修					*	*	*
		神経精神医学	1.0	必修					*	*	*
		小児科学	2.0	必修					*	*	*
		消化器・腫瘍外科学	2.0	必修					*	*	*
		腫瘍・胸部外科学	2.0	必修					*	*	*
		整形外科学	1.0	必修					*	*	*
		皮膚科学	1.0	必修					*	*	*
		泌尿器科学	1.0	必修					*	*	*
		眼科学	1.0	必修					*	*	*
		耳鼻咽喉科学	1.0	必修					*	*	*
		放射線医学	1.0	必修					*	*	*
	産科婦人科学	2.0	必修					*	*	*	
	麻酔・蘇生学	1.0	必修					*	*	*	
	脳神経外科学	1.0	必修					*	*	*	
	総合診療内科	1.0	必修					*	*	*	
	循環器内科学	1.0	必修					*	*	*	
	心臓血管外科学	1.0	必修					*	*	*	
	神経内科学	1.0	必修					*	*	*	
	小児神経学	1.0	必修					*	*	*	
	救急医学	1.0	必修					*	*	*	
	形成外科学	1.0	必修					*	*	*	
	選択制臨床実習	8.0	選必					*	*	*	
	症候別・課題別統合講義	5.5	必修				*	*	*	*	
	各科臨床講義	3.5	必修				*	*	*	*	
老年医学	老年医学	1.0	選必				*	*	*	*	
	臨床薬理学・薬剤学	1.0	選必				*	*	*	*	
	医療管理学	1.0	選必				*	*	*	*	
	緩和医療学	1.0	選必				*	*	*	*	
	東洋医学	1.0	選必				*	*	*	*	



平成21年度											
区分	授業科目名	単位数	必修選択	配当年次							
				1	2	3	4	5	6		
				前後	前後	前後	前後	前後	前後		
臓器・系統統合講義	循環器系	2.5	必修				*	*			
	呼吸器系	3.0	必修				*	*			
	腎泌尿器系	2.5	必修				*	*			
	内分泌・代謝系	2.0	必修				*	*			
	消化器系	4.0	必修				*	*			
	血液・造血管系	1.5	必修				*	*			
	感染症系	1.5	必修				*	*			
	免疫系	1.5	必修				*	*			
	感覚器系	2.5	必修				*	*			
	運動器系	2.5	必修				*	*			
	脳神経系	4.0	必修				*	*			
	精神系	1.5	必修				*	*			
	皮膚系	2.0	必修				*	*			
小児・発達系	4.0	必修				*	*				
生殖系	3.0	必修				*	*				
麻酔・救急系	3.0	必修				*	*				
臨床実技入門	2.0	必修				*	*				
専門科目	基本臨床実習	消化器・肝臓・感染症学内科	2.0	必修					*	*	*
		血液・腫瘍・呼吸器	2.0	必修					*	*	*
		腎・免疫・内分泌代謝	2.0	必修					*	*	*
		神経精神医学	1.0	必修					*	*	*
		小児科学	2.0	必修					*	*	*
		消化器・腫瘍外科学	2.0	必修					*	*	*
		腫瘍・胸部外科学	2.0	必修					*	*	*
		整形外科学	1.0	必修					*	*	*
		皮膚科学	1.0	必修					*	*	*
		泌尿器科学	1.0	必修					*	*	*
		眼科学	1.0	必修					*	*	*
		耳鼻咽喉科学	1.0	必修					*	*	*
		放射線医学	1.0	必修					*	*	*
	産科婦人科学	2.0	必修					*	*	*	
	麻酔・蘇生学	1.0	必修					*	*	*	
	脳神経外科学	1.0	必修					*	*	*	
	総合診療内科	1.0	必修					*	*	*	
	循環器内科学	1.0	必修					*	*	*	
	心臓血管外科学	1.0	必修					*	*	*	
	神経内科学	1.0	必修					*	*	*	
	小児神経学	1.0	必修					*	*	*	
	救急医学	1.0	必修					*	*	*	
	形成外科学	1.0	必修					*	*	*	
	選択制臨床実習	8.0	選必					*	*	*	
	症候別・課題別統合講義	5.5	必修					*	*	*	
	各科臨床講義	3.5	必修					*	*	*	
医学史	医学史	1.0	選必			←	*	→			
	老年医学	1.0	選必			←	*	→			
	臨床薬理学・薬剤学	1.0	選必			←	*	→			
	医療管理学	1.0	選必			←	*	→			
	緩和医療学	1.0	選必			←	*	→			
	東洋医学	1.0	選必			←	*	→			



平成22年度(予定)											
区分	授業科目名	単位数	必修選択	配当年次							
				1	2	3	4	5	6		
				前後	前後	前後	前後	前後	前後		
臓器・系統統合講義	循環器系	2.5	必修				*	*			
	呼吸器系	3.0	必修				*	*			
	腎泌尿器系	2.5	必修				*	*			
	内分泌・代謝系	2.0	必修				*	*			
	消化器系	4.0	必修				*	*			
	血液・造血管系	1.5	必修				*	*			
	感染症系	1.5	必修				*	*			
	免疫系	1.5	必修				*	*			
	感覚器系	2.5	必修				*	*			
	運動器系	2.5	必修				*	*			
	脳神経系	4.0	必修				*	*			
	精神系	1.5	必修				*	*			
	皮膚系	2.0	必修				*	*			
小児・発達系	4.0	必修				*	*				
生殖系	3.0	必修				*	*				
麻酔・救急系	3.0	必修				*	*				
臨床実技入門	2.0	必修				*	*				
専門科目	基本臨床実習	消化器・肝臓・感染症学内科	2.0	必修					*	*	*
		血液・腫瘍・呼吸器	2.0	必修					*	*	*
		腎・免疫・内分泌代謝	2.0	必修					*	*	*
		神経精神医学	1.0	必修					*	*	*
		小児科学	2.0	必修					*	*	*
		消化器・腫瘍外科学	2.0	必修					*	*	*
		腫瘍・胸部外科学	2.0	必修					*	*	*
		整形外科学	1.0	必修					*	*	*
		皮膚科学	1.0	必修					*	*	*
		泌尿器科学	1.0	必修					*	*	*
		眼科学	1.0	必修					*	*	*
		耳鼻咽喉科学	1.0	必修					*	*	*
		放射線医学	1.0	必修					*	*	*
	産科婦人科学	2.0	必修					*	*	*	
	麻酔・蘇生学	1.0	必修					*	*	*	
	脳神経外科学	1.0	必修					*	*	*	
	総合診療内科	1.0	必修					*	*	*	
	循環器内科学	1.0	必修					*	*	*	
	心臓血管外科学	1.0	必修					*	*	*	
	神経内科学	1.0	必修					*	*	*	
	小児神経学	1.0	必修					*	*	*	
	救急医学	1.0	必修					*	*	*	
	形成外科学	1.0	必修					*	*	*	
	選択制臨床実習	8.0	選必					*	*	*	
	症候別・課題別統合講義	5.5	必修					*	*	*	
	各科臨床講義	3.5	必修					*	*	*	
医学史	医学史	1.0	選必			←	*	→		*	
	老年医学	1.0	選必			←	*	→		*	
	臨床薬理学・薬剤学	1.0	選必			←	*	→		*	
	医療管理学	1.0	選必			←	*	→		*	
	緩和医療学	1.0	選必			←	*	→		*	
	東洋医学	1.0	選必			←	*	→		*	

 は、内容充実を行う科目  
 は、新規開講科目  
 は、配当年次の変更を示す

平成22年度 岡山大学医学部医学科カリキュラム概要（地域医療に関する科目）

区分	授業科目	必修 選択	単位	学 年												期 間	授業場所	特 徴 等
				1		2		3		4		5		6				
				前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後			
専 門 科 目	新 入 生 研 修	必修	-	★											1日	社会福祉法人「旭川荘」	岡山を代表する全国トップの規模の社会福祉法人「旭川荘」で見学体験実習を入学後3か月以内の新生入生に対し実施し、小児から高齢者まで様々な年齢構成の入居者及び職員との触れあいの中で地元の医療福祉の実態を認識させ、自らの将来の医師像に焦点をあて、地域医療等への動機付けを図る。	
	早 期 体 験 実 習	必修	0.5	★											1日 (夏季休業期間)	学外医療機関、保健医療福祉施設又は講義室	上記と深い関連をもつ実習で、以下のグループ別に充実した実習を行うことにより、地域医療の現場を体験し、地域医療従事者の役割、高齢化社会における医療・福祉・介護システムや地域における健康づくり現状の理解を深め、将来の医師としての自覚と動機付けを高めさせる。 ・地域の高齢者保健福祉施設での見学実習 ・保健所業務の見学実習 ・地域の診療所等での保健医療福祉施設の見学実習 ・岡山市内での多職種連携により在宅医療を行っている現場の見学	
	基 礎 病 態 演 習	必修	12.0			★		★							2年次後期及び3年次後期	講義室及びチューリアル室	自ら問題を設定し、それを解決するという卒業後の実社会を反映した学習である。 地域の医療機関の医師を招き、実際の症例を提示し概説していただき、地域医療が抱える問題点も浮き彫りにする。	
	医学研究インターンシップ	必修	8.5							★					後期（インターンシップの期間は3か月）	学内、国内或いは国外の研究室	学内、国内或いは国外の研究室に所属し、特定の研究テーマに焦点を当てて、実際の研究活動に従事し経験する。この中には、地域保健福祉に関するプログラムも含まれる。研究活動を行う中で、地域医療に対する造詣を深め、問題点を探求することができる。	
	衛 生 学	必修	3.0								★		★		4年次後期及び5年次後期	講義室及び学内外医療機関等	いずれの科目とも、地域保健及び老人介護保健の実態をより深く学び、卒業後の地域での医療活動の基礎を築かせる。 実習においては、ターミナルケア実習（在宅ターミナルケアを行う開業医と共に患者宅訪問）、診療所実習、保健所実習などが含まれる。	
	公 衆 衛 生 学	必修	3.0								★				夏季休業期間中及び10月	学外医療機関等		
	疫 学 ・ 衛 生 学 実 習	必修	1.0										★		夏季休業期間等	学外医療機関等		
	公 衆 衛 生 学 実 習	必修	1.0										★		夏季休業期間等	学外医療機関等		
	地 域 医 療 体 験 実 習 ※地域枠学生は必修	必修・選択	3.0						★		★					3年次及び4年次の夏季休業期間中（それぞれ連続1週間程度）	一般家庭及び地域の医療機関等	地域医療を実際の現場で体体験し、地域医療の重要性を理解する。具体的には、県と市町村の仲介により、夏休み等を活用し、1週間程度のホームステイを行う。日中は地域の医療機関での見学・実習、夜はホームステイ先で地域の方々との交流を行う。 なお、地域医療体験については、入学時から段階的に触れさせることが重要であるため、地域枠学生に対しては1年次から、岡山県の中山間地域をはじめとした地域の医療機関等でプレ体験を実施する。
	選 択 制 臨 床 実 習	必修	8.0												★	1期4週間を4期(4月～7月)	大学病院及び岡山県内を初め、四国等の地域医療機関	コアからさらに踏み込んだ内容の臨床実習として地域医療臨床実習を含み120余りのコースを設定している。その中には、岡山県内を初め、四国等の地域医療機関や岡山大学三朝医療センターでの実習も設定している。 中でも、三朝医療センターでは、老年医学に関する臨床実習を積むことにより、地域医療に関する知識・技能・態度を身につけさせる。 この4期にわたる実習期間のうち1期（4週間）は、全員が地域医療機関での実習とし、地域枠学生へは指定病院設定枠を設ける。